



11月に入って冬の足音が日毎に聞こえて来ます。
スクールバスもすでに冬タイヤに交換をして、雪道へ備えてあります。
園舎の中もストーブがフル回転して、こどもたちを温とりて包んであります。
こどもたちの冬の毛糸の帽子の着帽は12月からです。
準備をよろしくおねがいします。

■おどろつき大会です!

11月15日(木)はおどろつきの日です。
日本の伝統的行事を経験します。

つぼみ組をはじめ全クラスの参加で行います。

つぼみ組だけママと一緒に参加になります。

当日の名学年の役割は次のようになっております。

- ・ つぼみのおとこたちはママと一緒に見学して、おどろきをママと一緒に喰べてから降園します。
- ・ 年少児たちは、おどろきのおどろき応援して おどろきを喰べます。

- ・ 年中児たちはねじりはち巻きになりふたりひと組で杵を持ち上げておどろきをします。

ヨロヨロと危なっかしい子も居れば、軽々と持ち上げて力強く振り降ろす子などさまざまです。

はじめての経験です。

- ・ 年長児たち、頭にバンダナ、スモッグを着て、手にはビニール



の手ぶくろ姿。つきたての

おどろきを小さく丸める役目。和気あいあい。

- ・ クラスのお手伝いのお母さまが味つけ(砂糖正油)をして、お弁当の後みんなで「イダダキ マース!!」

お手伝いのママはバンダナにエプロン持参で来て下さい。

(心の育ちシリーズ) コンピュータ-フル回転!

自給自足は開園の時から年長児たちにハーモニカの課題に挑戦させております。

小さな楽器で、手軽に持ち運べて、吹けるようになると楽しい楽器です。

昭和47年の4月、私が180度方向転換して幼児教育のこの世界に入り、右も左も分からないままハーモニカを取り入れたのです。

その理由としては、自分も幼い頃にハーモニカを経験しており、当時34歳になっても吹けたからです。

当時のスタッフたちは大きな不安を抱えてのスタートでしたが、指導のノウハウを私が組み立てて現在に至っております。

ご承知のとおり難しい楽器です。その難しさをさのさせずにゴッコと指導するスタッフたちも見事ですが、その指導を吸収して行く自給自足のこどもたちも凄いです!

教師の話しをしっかりと聞く力が絶対必要です。吹く音もあり吸う音もあるし、ドからはじまって上のドまでの8音の場所も、そして、途中には吸わなければ出ない音が4個もあり、位置もあちこち。

口に当てているから位置も見えず、こどもたちの小さなコンピュータ-はフル回転です。レポ-トリ-を増やしてパパママたちに聴いていただきます。大変な育ちです!